



2020-2021年度R.I.テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

第2852回 例会
2020.11.19

週報 No.2156
発行 2020年11月26日
2020-2021年度
会長 宇多村海児
幹事 深澤 圭司
副会長 齋藤 修弘
副幹事 長沼 大策
編集責任者:公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

ゲスト
上尾市 健康福祉部
健康増進課
課長 樋浦雅紀様
主任 持田ゆりえ様

2020 学年度
ロータリー-米山記念奨学生
トウ シンヨウ
修 針叶 さん

行事予定
12月3日 クラブ協議会①
ガバナー公式訪問
リハーサル
12月10日 部門セミナー報告⑤
青少年奉仕部門
12月17日 新会員卓話
田代真吾会員
12月24日 クリスマス例会
年次総会
12月31日 定款の規定により休会

上尾市から感謝状を授与されました

今年6月、当クラブが「フェイスシールド1920セット・マスク500枚」と、友好クラブである台南東北RCさんが「防護服350着・護眼ゴーグル350個」を上尾市に寄贈したことから、上尾市から感謝状が贈られることになり、この日、健康増進課さんが例会会場にお越しになって、授与式を行いました。ここ数日、またコロナ感染率が高くなってきました。あらためて気を引き締め、感染拡大防止に努めましょう。



会長あいさつ

本日も例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス再拡大の兆しもある中で、2770地区大会へご参加いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。さて本日はすこし思い出話をしてみたいと思います。「青年」の名を冠する団体に所属している間は青年でいられるとすれば、私は45歳まで青年であったことになりました。かつて二つの団体に所属していたうちのひとつ、上尾商工会議所青年部在籍時の思い出をお話します。JCを40歳で卒業したその年の4月、私は青年部で「未来創造委員会」の委員長を拝命しました。それまで常設委員会としてはなかった委員会でしたので、一年を通じてどのような活動をするか、これを自ら考えなくてははいけませんでした。そこで弟分

たる副委員長に、株式会社富吉社長の富永吉昌さんをお願い、2人して活動計画を一から立てる出発となりました。

未来を創造する。素晴らしい言葉ですが、つまるところ未来とは現実の積み重ねの結果です。未来という言葉に酔って浮足立った途方もない未来の絵を描くより、まずは現実にあるあらゆる問題をよく観察してみよう、そこで見つけた問題点を青年らしい視点で改善・解決案を提示していこうじゃないか。確固たる提案が出来たなら、細々とでもいい、必ず未来に向かってつながっていくような実施の方法を考えていこうじゃないか、こんな思いを共有しました。

では実際に何を行なったか。大きな事業計画を三つ作りました。以下にお話しするのはその一つです。未来に生きる若者の健康を考えようということになりました。私は2008年当時、先進国のなかで日本が唯一、HIV感染者数、エイズ発症者数とともに増加している国であるということに衝撃を覚えていたところでした。

「この世に男と女がいる限りこの問題は将来にわたって存在する。世界と比較すれば文化的な違いもあるだろうけど、日本がその方面の教育の後進国でもあるということだ。富さん、啓発事業をやってみないか?」私よりも7つ8つ若い富永副委員長には抵抗があるかなと思いましたが、意外にも即座に是非やりましょうと心強い答えが返ってきたときはこの弟分を頼もしく思ったものです。啓発事業にはエイズ予防財団の協力を仰いだら、啓発用の冊子が1000部送られてきました。これを上尾駅で手配りする予定でいました。しかし事業としてはこのままでは単純です。

冊子を絶対に捨てられないくらい強烈なインパクトをもって受け取ってもらうために、その冊子に1個入りのコンドームをつけようと考えました。たとえば性的な話題も出ないご家庭がほとんどの現代で、子どもがこっそり家に持ち帰り、深夜に自分の部屋で初めて直に手にするコンドームとともに冊子を読むことになって、初めてわれわれの目的が半分達成されます。目的に使命感を持たせ、手段が作り込まれて、達成の予感がたどよう委員会メンバーは勝手に動いてくれます。テレビ埼玉から当日の取材の約束を取り付けてくる者もあらわれます。

あらためてエイズ予防財団にこの事業を説明すると、当日の財団からのお手伝い人員の手配の申し出だけでなく、その事業を助成対象にしませんかなど財団も前のめりになってきます。

さらには、この一個入りの啓発用コンドームのケースをオリジナルデザインにしよう。デザインを公募して優勝したものに賞金を出し、デザインを買い取る。さらに青年部メンバーの飲食店にこの青年部オリジナルケースを持参した来客には割引などの一定の特典を与えよう。このように重層的な事業企画でありました。この事業計画を二人で発案から上程するまでの時間は本当に充実して楽しかった。青年だからこそできる事業だという自負もありました。委員会メンバー一人ひとりの心のうちに未来を創造していく実感がまちがいに芽生えていたと思います。

しかし、この啓発事業は、理事会の承認が得られず廃案となってしまいました。財団にも、これが承認されず立ち消えになったことを伝えると、担当者の落胆ぶりが電話からも伝わってきます。委員会メンバーへの報告も申し訳なさで喉の奥が塩辛い言葉がつかえました。

私たちはこの事業趣旨を、未来を生きる若者の健康への意識を育むという青年の考えた「未来」に理解を求めました。しかし結果として、コンドームを配るという「現実」が前面に出てきてしまって、受け入れがたいものに映ったのかもしれない。

青年とは躍動感にあふれ、リスクも恐れず、思いきりもいいものです。だからこそ青年だけがなしうることがある。そう思っていました。しかしそうでない場合もあった。この事業企画を通じて分かったことです。

あのとき青年たちは動かなかったのか。それとも動けなかったのか。

お時間あるときにエイズ予防財団のホームページをのぞいてみてください。「啓発グッズ」というボタンがあって、そこをクリックすると啓発用のコンドームが掲載されているのをご覧いただけます。

会長挨拶は以上です。本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

深澤 圭司幹事
◇14日・15日の地区大会、お疲れ様でした。
◇本日は例会終了後に理事会を開催します。
◇台北国際大会へは早割でお申込ください。

委員長報告

米山記念奨学委員会 樋口雅之委員長
宇多村会長から8月に10万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。

ロータリー米山記念奨学生 あいさつ

2020学年度 ロータリー米山記念奨学生 修針叶さん
皆さん、こんにちは。卒業論文に間に合わせるため、平日も休日も昼夜問わず研究に明け暮れています。それから彼氏ができました。

米山記念奨学会功労者(メジャードナー)表彰

富永 建 会員

ポールハリスフェロー授与

門崎 由幸 会員

例会主題 会員卓話

国際奉仕事業について

大木 保司 会員

<国際交流>
1987年RI.D2770故PDG金子雅英氏と旧RI.D3690故PDG方炫氏との縁で両地区の姉妹地区が始まり、早いもので2017年にて30周年を迎える事となりました。

20周年を済州島の新羅ホテルにて両地区合わせて400名のロータリアン、ロータリー家族が集い、盛大に行われました。当日はあいにく天候が悪く、ゴルフに参加された両地区の約250名は大変だったと聞いています。その後インターアクト相互訪問、地区大会への参加、両地区内の各クラブの交流etc.現在まで積極的な親睦交流が行われています。

2017年9月22日(金)から24日(日)のスケジュールで、韓国で開催されたRI.D3750との友好地区30周年を記念しての姉妹地区締結式、交流会及び

第14回韓日親善会議に大貫等ガバナー、吉田豊治実行委員長をはじめ多くのRI.D2770メンバーと共に挙行致しました。22日の姉妹地区締結式、交流会はソウル近郊、水原市のキャッスルイングラッドホールにてRI.D3750のキー35名、RI.D2770側120名が集い盛大に開催されました。まず、30年の歴史をDVD映像で紹介し千基澤ガバナーの点鐘で開会致しました。一連のセレモニー後、原田国際交流委員長により30周年の歩みの報告があり、姉妹地区締結書に署名(両地区ガバナー、実行委員長、国際担当責任者)致しました。そして両ガバナーと実行委員長による祝辞が述べられました。両地区友好30周年を記念して、いままでも両地区の友好関係に貢献された方々に感謝状が贈呈されました。当地区より吉田豊治PDG、田中徹夫PDG、関口博正PDG、中島美三郎元地区幹事、そして津田仁美(津田健三PDG夫人)様が授与されました。そして大貫等ガバナーによる閉会点鐘で式典が終了いたしました。記念撮影の後、お祝いのケーキカットを行い、久世晴雅PDGの乾杯で楽しい晩餐会が開催されました。アツという間の3時間半

の式典及び交流会でした。また国内外のクラブの友好クラブ、姉妹クラブの紹介も委員会事業の柱であり、台湾や韓国を中心に毎年少しずつ増えています。

「世界で仲間をつくらう!」
<国際奉仕>

田中徹夫PDGとフィリピン(RI.D3800)のエディPDGのご尽力もあり両地区合同の奉仕事業が20年以上続いています。今日でも海外支援に慣れないクラブや又同じクラブ同士で続けて支援しているクラブもあります。又インド(RI.D3000)やタイ、ベトナムetc.独自のルートで海外支援をしているクラブも増えています。小さな支援から大きな支援(グローバル補助金)へと繋がります。その為にはR財団部門と国際奉仕部門がより協力して国際事業を推進していく必要があります。

2017年12月2日(土)~5日(火)、海外特別枠の補助金2,000ドルを利用してRI.D2770としては初めてベトナム支援を2件して来ました。

(1) 上尾RC、鴻巣RC、春日部西RCとの3クラブ合同企画
ベトナム国立ハノイ小児病院(1,500床)に1,000

ドル(200ドル×5名)の手術代と治療費の補助として現金支援、及び2,000ドルで400名分のミルク・菓子・タオル等のセットをプレゼントしました。

(2) 川口/鳩ヶ谷南RC、川口シティ鳩ヶ谷RCとの2クラブ合同企画

ハノイ障がい教育センターに2,000ドルで日本製のテレビ2台と120名分のミルク・菓子・タオル・文具をプレゼントしました。ベトナムでは社会主義国家の為、ロータリークラブが有りません。信頼できるパートナーが居てこそその事業及び支援になります。そのおかげで患者さんや子供達の笑顔を見る事が出来ました。今まで国際奉仕事業にご理解、ご協力頂いたパストガバナーの皆様、委員会の皆様、各クラブの皆様にご感謝いたします。「世界でよいことをしよう!」。最後に、世界はあなた(の支援)を待っている!!

スマイル 大木会員、卓話を披露いただきありがとうございます。

宇多村会長/深澤幹事/齋藤修弘副会長/長沼副幹事/武重会員/岡野会員/富永会員/村岡会員/尾花会員/大木保司会員/齋藤博重会員/藤村会員/齋藤哲雄会員/須田会員/樋口会員/門崎会員/坂本会員/小田切会員/丹井会員/奥川会員/関口良康会員/山崎会員

出席率
会員数 38
出席数 24
欠席数 14
63.16%

地区大会 第2851回例会 当クラブはRIロータリー賞シルバー賞を受賞し表彰されました。また島村直前ガバナー補佐には地区から感謝状が贈られガバナー特別賞も受賞しました。地区大会記念講演の吉岡秀人講師には、IMのお礼をお協力し記念品を贈呈しました。

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
例会場 東武パレットホール4F(ボリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

